



Save the Earth



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

Team

NAOTOMI

直富商事株式会社

本社 / 〒381-0022 長野県長野市大豆島3397番地6
TEL:026-222-1880 FAX:026-222-1881
<https://www.naotomi.co.jp>



▲HPIはこちら



▲インスタはこちら



2025

直富商事株式会社

CSR報告書

NAOTOMI Corporate Social Responsibility Report 2025



TOP MESSAGE

脱炭素社会に向けた取り組みと 未来への展望

直富商事株式会社
代表取締役

木下 繁夫



2024年2月に稼働した産業廃棄物高度選別・中間処理施設でのRPF製造を、今期倍増いたしました(生産量8,000t/年)。化石燃料の代替燃料として社会が求める需要増に応じてまいります。また今年度は、廃熱を効率的に活用し発電する設備を伴った乾留ガス化炉を新設、稼働を開始します。熱回収後に得た電力は焼却炉で使用し、脱炭素化の実現・サーキュラーエコノミーの推進に向けて更に努めてまいります。

昨年度から長野県立大学様と関わる機会をいただきました。地元長野の課題解決に積極的に取り組む県立大様、学生との交流を通じて、我々も学びながらその協力を継続していく考えです。

持続可能な社会を構築するにあたり、同業異業種問わず共創しなければ道が開けない物事は多々あり、従い我々は仲間であるそれらの企業様と積

極的に繋がりを持たせていただき、その役目を共に果たしてまいりたいと思っております。仲間を増やし、共創により明るい未来を切り開く、2025年度もご期待いただきたいと思います。

ウィンタースポーツは今期オリンピックイヤーを迎えます。第25回冬季オリンピックが2026年2月6日～22日、パラリンピックは3月6日～15日にイタリアのミラノ・コルティナダンペッツォにて開催予定です。当社所属、女子スピードスケートの山田梨央選手も出場を目指し鍛錬を怠りません。昨シーズンはワールドカップで3位、初めて世界の表彰台に登りました。彼女と結城コーチの努力の賜物です。今シーズンもベストを尽くしてくれるはずです。どうぞ皆様も山田梨央選手の応援、よろしくお願いいたします。

会社概要

会社名 : 直富商事株式会社
本社所在地 : 〒381-0022
長野県長野市大豆島3397番地6
代表者 : 代表取締役 木下 繁夫

設立 : 1975年3月10日(創業 1948年)
資本金 : 45,000千円
従業員数 : 727名(2025年2月末現在)
売上高 : 171億66百万円(2025年2月末現在)

経営ビジョン

経営理念

- 地域に愛され、必要とされる会社とする。
- 社員が物心共に幸福と思える会社とする。

行動指針

- 安全・遵法第一、営業第二。
- 全てにおいて、常に顧客目線で考え、行動する。
- 責め心の無い厳しさ、馴れ合いでない優しさを持ち続ける。



経営ビジョン

1. 市場・社会でのポジション

- 長野県環境関連産業のリーディングカンパニーとなる。
- 経営目標達成により長野県内における当社の存在感を高めると共に、顧客満足度No.1企業を目指す。

2. 事業運営の将来像

- 当社が競争優位性を確立できる事業分野を中心に長野県内をマザーマーケットとして広域で事業展開する。
- 時代の変化に合わせて柔軟に中核事業の事業モデルを変革していく。
- 労働集約型業務を削減して作業の効率化・省力化を進め、従業員一人当たりの生産性を業界トップクラスにする。

3. 組織と人のあり方・関係

- 社員の育成計画を明確に設定したうえでジョブローテーションを回し、組織・人材の活性化を図る。
- 長時間労働を排除し、決められた時間内で最大限の成果を追求する企業文化を定着させる。
- 管理職へ権限を委譲し、経営のスピードを上げると共に将来の経営を担う人材を育成する。
- 受け身、指示待ちの職場風土を“自ら考え行動し挑戦する”ことが重視される職場風土へ変革する。
- 人を活かし、育てる企業風土を醸成する。

4. 環境負荷低減への取り組み

- 使用電力に起因するCO₂の(みなし)排出量をゼロにする。
- 使用燃料によるCO₂排出量10%分の削減に寄与する。

サステナビリティの取り組み

私たちは、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、サステナブル社会の実現に貢献します。

- 1. 環境への配慮** 私たちは、廃棄物の適正な処理及び再資源化を通じて、限りある資源の有効活用と環境負荷の低減に取り組んでおります。特に、産業廃棄物の高度な選別により高品質なRPF（固形燃料）を製造するほか、使用済み油から高純度BDF（バイオディーゼル燃料）を精製するなど、エネルギー資源としての再利用にも注力しております。これらの取り組みを通じて、持続可能な循環型社会の実現に貢献し、次世代へと繋がる環境価値の創出を目指しています。
- 2. 社会貢献活動** 私たちは、地域社会や社会全体への貢献活動に積極的に取り組んでいます。特に子どもたちへの支援活動は食糧支援、教育支援、健康支援、スポーツ・文化活動の支援等、子どもたちの将来の可能性を広げ、社会の発展に貢献する重要な役割と考えて継続的に取り組んでいます。
- 3. 従業員の福祉** 私たちは、常に従業員の健康と安全を最優先に考え、働きやすい環境の整備や福利厚生の充実を図っています。健康診断再検査の推奨・ストレスチェック 100%実施等の取り組みが評価され、健康経営優良法人に認定されました。また、労働条件の改善やキャリア開発支援等、従業員の生活と働き方の向上にも取り組んでいます。
- 4. 透明性と責任** 私たちは、企業の透明性と責任を重視し、持続可能な事業運営を行っています。経営方針や CSR（企業の社会的責任）活動の情報を公開し、ステークホルダーとのコミュニケーションを大切にしています。

井戸を世界中に22万基掘る会カンボジアへの井戸寄贈

プラスチック、紙、金属等資源物のリサイクル

廃棄物の適正処理

従業員の健康管理

社員表彰等によるモチベーションアップ

環境美化活動

全国スマイル・プログラム推進協議会加入

信州プラスチックスマート運動への協力

世界の子どもにワクチンを！ ペットボトルキャップを集めて支援

フードバンクへの寄贈 子ども食堂への支援・学習用品支援

事業活動、CSR活動を通して 世の中の「課題」を「解決」し、SDGs達成を目指します。

植樹

CO₂削減

地域スポーツへの貢献

リサイクル教育機会の提供

地元の方との懇談会実施

SDGs
REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT

長野県SDGs推進企業（SDGsと企業活動を関連付け、具体的なアクションを進める県内企業等を長野県が認定する制度）に登録されています。
SDGs達成に向けた重点的な取り組みと2030年に向けた指標を掲げています。

SDGs達成に向けた重点的な取り組み	2030年に向けた指標	関連する目標
受け入れた廃棄物・資源物のリサイクル率向上	リサイクル率: 90%達成	13 気候変動、14 海洋資源、15 陸域生態系
	2022年度 88.3% 2023年度 89.9% 2024年度 91.0%	
リサイクル教育機会の充実 (リサイクル授業、出前授業、小学生見学受け入れ)	件数:年間合計 30件	4 質の高い教育
	2022年度 15件 2023年度 20件 2024年度 24件	
社員の健康管理 再検査実施率の向上	再検査実施率: 80%	3 健康的な生活、8 産業と労働
	2022年度 44% 2023年度 49% 2024年度 70%	

リサイクル率

廃棄物・資源物の受け入れ量 **177,649** トン

金属くず ペットボトル 廃食用油 繊維くず

木くず 廃プラスチック 紙くず 食品廃棄物 がれき類、ガラスくず類 等

直富商事で
破砕、切断、選別、圧縮、溶融固化、圧縮・結束、圧縮・固化、油水分離、エステル化、乾燥、堆肥化、焼却等の処理を行い、再生資源としてメーカーへ出荷

リサイクル率 **約91.0%**

リサイクル量 **161,682** トン (主に取引先にて)

リサイクルして還元

金属くずから鉄筋 ペットボトルからペットボトル BDF 廃食用油から高純度BDF

木くずから木質ボード 紙くずから再生紙 繊維くずから工業用ウエス

食品廃棄物から飼料原料 廃プラスチックから再生プラスチック製品、RPF燃料 がれき類、ガラスくず類から路盤材 焼却物から発電(サーマルリサイクル) 等

サーキュラーエコノミーの推進

当社廃棄物高度選別工場（第3工場）では、重量物系廃棄物選別ラインに3種選別機能を有する光学選別機を増設し、通常10名以上を必要とする選別作業の無人化と廃棄物の再資源化率向上を実現させました。



当社独自の廃棄物処理技術

通常とは逆の使い方、光学選別機を重量物系ラインに設置するという「逆転の発想」により、従来の人的選別プロセスでは選別できなかった資源まで短時間で効果的に分けることが可能となり、再資源化率の飛躍的向上を実現しました。これは、当社高度選別ラインの特徴と、取り扱う廃棄物の物性に加え、最新の高度選別機との詳細な調整が三位一体となり効果的な結果を生み出しました。

サーキュラーエコノミーへの貢献

廃棄物を最小限に抑え、資源を循環させることはサーキュラーエコノミーの重要な要素です。2機目の光学選別機の導入は、廃棄物から新たな資源を効率よく回収する仕組みを強化し、無駄な資源の消費を減少させ、持続可能な循環型経済の構築に貢献します。この当社独自の廃棄物処理ノウハウにより、資源の再利用率が高まり、環境負荷の軽減が図られると共に、より少ない資源で社会が成り立つシステムの実現に近づくことができます。

特集 GX-1

資源リサイクルがCO₂削減に繋がる理由

GX (グリーントランスフォーメーション、Green Transformation) は、環境負荷の低減を目的とした経済や社会の構造転換を指します。特に、脱炭素化を進めるための技術革新やエネルギー転換を中心に、持続可能な成長を実現するための取り組みを含みます。

1 新規資源採掘・加工のエネルギー削減

新規資源の採掘や加工には大量のエネルギーが必要です。例えば、鉱石を採掘して金属を作る過程では、掘削や輸送、精錬などの多くの工程があり、それぞれで大量のエネルギーを消費します。このエネルギー消費に伴い、CO₂が大量に排出されます。しかし、リサイクル材を使用することで、これらの工程を省略または短縮できるため、必要なエネルギーが大幅に減少し、その結果、CO₂の排出を抑えることができます。

リサイクル材を使うことで、資源の採掘や加工にかかる負担を減らし、環境に優しい方法で製品を作ることができるのです。



2 焼却・埋立処分の減量化によるCO₂排出の抑制

焼却や埋立処分は廃棄物処理の一般的な方法ですが、この過程で大量のCO₂が排出されます。焼却時には廃棄物を燃やすことでCO₂が発生し、埋立処分では廃棄物が分解する際にメタンガスなどの温室効果ガスが出る場合があります。しかし、廃棄物の減量化やリサイクルを進めることで、これらの処理を減らすことができ、結果としてCO₂排出を抑えることができます。例えば、リサイクルの推進により廃棄物の発生を抑制することで、焼却処理や最終処分(埋立)への依存を軽減することが可能となります。

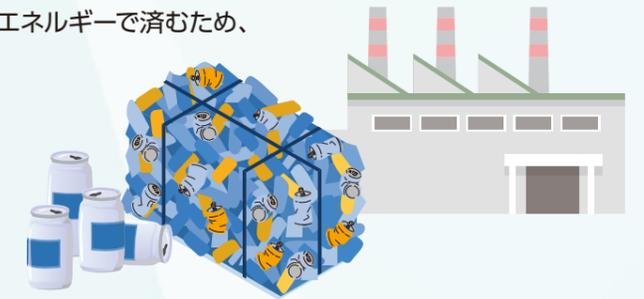
廃棄物を減らすことは、環境への負荷を軽減し、温室効果ガスの排出を抑えるうえで非常に重要な取り組みです。



3 製品の製造過程でのCO₂削減

製品を作るためには、原料の採取から加工、製造に至るまで様々な工程が必要です。この過程で多くのエネルギーが消費され、そのエネルギー使用に伴ってCO₂が排出されます。しかし、リサイクル材を使用することで、新たに原料を採掘したり加工したりする必要が減り、製造にかかるエネルギーを削減できます。例えば、アルミニウムのリサイクルでは、新たに鉱石を採掘して精錬するよりもはるかに少ないエネルギーで済むため、CO₂の排出を大幅に減らすことができます。

リサイクル材を使うことで、製造過程でのCO₂排出を削減し、環境への負担を軽減することができます。



4 循環型社会の促進と長期的なCO₂削減

循環型社会の促進は、資源の再利用と無駄の削減を通じて環境への負担を軽減する取り組みです。使用済み資源を再利用・リサイクルすることで、新たな資源消費と廃棄物を減らし、CO₂排出の削減にも繋がります。これにより、温室効果ガスの排出抑制と地球温暖化の進行防止が可能となり、持続可能な経済の基盤を築けます。

まとめ | 資源リサイクルがCO₂削減に繋がる理由は以下の4つのポイントに集約できます。

1. 新規資源採掘・加工のエネルギー削減
2. 廃棄物削減によるCO₂排出抑制
3. 製品の製造過程でのCO₂削減
4. 循環型経済の促進

「捨てる」のではなく「活かす」ことで、CO₂排出を大幅に削減し、環境負荷を減らせます!



特集 GX-2

子どもたちの未来を守る 直富 商事の**脱炭素**の取り組み

BDF(バイオディーゼル燃料)使用によるCO₂削減効果



約 **30.2** (t-CO₂)

杉の木 約2,157本の
年間CO₂吸収量相当
(原油換算: 12kl)

BDF(バイオディーゼル燃料)は、使用済み食用油や植物油から作られる再生可能エネルギーであり、燃焼時に排出されるCO₂は植物が成長過程で吸収したものとされ、カーボンニュートラルとみなされます。これにより、実質的にCO₂排出量の増加はありません。さらに、BDFは石油由来の燃料の使用を減らし、廃油の再利用によって廃棄物削減にも貢献します。

BDFを1リットル使用することで、約2.6kgのCO₂削減が期待でき、環境に優しいエネルギー源としてCO₂削減に大きく貢献します。

RPF(固形燃料)使用によるCO₂削減効果



約 **5,120** (t-CO₂)

杉の木 約36万5,714本の
年間CO₂吸収量相当
(原油換算: 2,056kl)

RPF(固形燃料)の使用は、従来の化石燃料に比べてCO₂排出量を大幅に削減し、環境負荷の軽減に役立ちます。RPFは廃棄物を再利用して作られ、石炭や石油の代わりに使うことで、CO₂の排出を抑えることができます。

RPFを1トン使用することで、約1.6トンのCO₂削減が可能です。また、RPFの利用は廃棄物削減にも貢献し、環境保護に寄与する持続可能なエネルギー源となります。

私たちが今日使用している資源は、未来を生きる子どもたちにとってかけがえのない財産に向けた重要な一歩となります。資源循環を推進することで、新たな資源の採掘を抑え、工り、脱炭素社会の実現に寄与し、地球環境への負荷軽減にも繋がります。当社では、廃棄物料)、金属・古紙のリサイクルなど、多様な資源再生の取り組みを通じて、新たな価値の創出このような循環型社会の構築に向けた取り組みは、CO₂の削減にも大きく貢献しています。未来の子どもたちに誇りを持って引き継げる地球を残すため、私たちは資源の循環を促進

今こそ、私たち一人ひとりが行動し、

す。限りある資源を有効に活用し、廃棄物の発生を抑制することは、持続可能な社会の実現エネルギー消費の削減や二酸化炭素(CO₂)の排出抑制に貢献することが可能です。これによる単なる「ごみ」として処理するのではなく、BDF(バイオディーゼル燃料)やRPF(固形燃を目指しています。

し、脱炭素への挑戦をこれからも続けてまいります。

持続可能な未来へと踏み出しましょう。

キョウヨリ
ヨイミライへ

金属スクラップのリサイクルによるCO₂削減効果



約 **125,574** (t-CO₂)

杉の木 約896万9,572本の
年間CO₂吸収量相当
(原油換算: 5万431kl)

金属スクラップ(鉄、アルミニウム、銅、ステンレス鋼)のリサイクルによるCO₂排出量の削減効果を紹介いたします。

例えば、1トンのリサイクルによって削減できるCO₂排出量は、**鉄で約1.5トン、アルミニウムで約10トン**(特にリサイクル効果が高い)、**銅とステンレス鋼でそれぞれ約4トン**です。

これらの金属は、リサイクルすることで新たに資源を採掘・精錬する際に発生する大量のCO₂を削減できるため、環境負荷の低減に大きく寄与します。特にアルミニウムは、製造時のエネルギー消費が高いため、リサイクルの重要性がより高いといえます。金属リサイクルを推進することは、資源の有効活用に繋がるだけでなく、持続可能な社会の実現にも貢献する重要な取り組みです。

古紙/ペットボトルのリサイクルによるCO₂削減効果



約 **73,714** (t-CO₂)

杉の木 約526万5,286本の
年間CO₂吸収量相当
(原油換算: 2万9,604kl)

古紙(新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック)及びペットボトルのリサイクルによるCO₂排出量の削減効果を紹介いたします。

例えば、1トンのリサイクルによって削減できるCO₂排出量は、**新聞紙で約1.5トン、雑誌で約2.5トン、ダンボールで約1.5トン、牛乳パックで約1.1トン、ペットボトルで約2.3トン**です。

これらのリサイクル活動を通じて、資源を再利用し、新しい製品を作る際に発生するCO₂を減少させ、持続可能な社会の実現に貢献します。リサイクルの推進は、環境負荷を軽減し、地球温暖化防止に向けた重要な取り組みです。

サービス



産業廃棄物

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を行います。リサイクル可能品目は中間処理後に再生利用します。高精度な選別を行うことで廃棄物の埋立量を減らし、地球環境保全に貢献しています。



金属スクラップ

金属スクラップを収集・選別し、圧縮や切断加工した高品質なリサイクル素材を再生メーカーへ提供しています。このプロセスにより、天然鉱石から金属を製錬する際に必要なエネルギーを削減し、CO₂排出量の大幅な低減に貢献しています。



解体工事

豊富な専門知識と技術を活かし、安全かつ効率的な解体工事を提供しています。発生した産業廃棄物は適切に処理し、環境負荷の最小化に努めています。迅速かつ丁寧な作業と徹底した安全管理を実施し、常に高品質なサービスを提供しています。



食品残渣

食品リサイクルは、廃棄された食品を有効に再利用し、廃棄物の量を減らし、環境への負荷を軽減するプロセスです。食品リサイクルの主な目的は、食品廃棄物を再生可能な資源として活用することであり、地球資源の持続可能な利用を促進します。



一般廃棄物

事業系一般廃棄物や家庭から出る引っ越しごみ・粗大ごみの収集運搬を行っております。これらの業務は、地域の衛生的な生活環境を維持するうえで不可欠な「エッセンシャルワーク」です。また、ソファやマットレス、タイヤ、家電製品など、行政では対応が難しいごみの受け入れも、民間事業者として担っております。



古紙・機密書類

地域の資源回収や店舗、事業所等から排出される古紙類・機密書類を回収・加工し、メーカーへ納入します。その後新しい紙にリサイクルされます。古紙リサイクルは、森林資源の保護や廃棄物削減に貢献し、製造時のエネルギー消費とCO₂排出量を大幅に削減する重要な取り組みです。



RPF (Refuse Paper and Plastic Fuel)

廃棄物を再利用して、RPF (固形燃料) を製造しています。RPFは、持続可能なエネルギー源として、エネルギーの再利用を促進します。化石燃料の代替として温室効果ガスの削減に貢献し、エネルギーの持続可能な供給において重要な役割を果たしています。



プラスチック

プラスチックリサイクルは、廃棄物削減や資源の有効活用を促進し、石油由来原料の使用を削減します。その結果、製造エネルギーの節約やCO₂排出量の大幅削減を実現し、地球温暖化防止と持続可能な社会の実現に貢献します。



高純度BDF (バイオディーゼル燃料)

使用済み油から高純度BDF (バイオディーゼル燃料) を精製し、ディーゼルエンジンを搭載した自動車、トラック、重機、フォークリフトなどの燃料として使用します。これにより、廃油を再利用し、環境への負担を軽減することができます。BDFは、化石燃料の代替として、CO₂排出量の削減に貢献し、持続可能なエネルギー供給に寄与します。



貿易

国際的なネットワークを活用し、各国の環境規制や市場動向を考慮した輸出入手続きを通じて、持続可能な資源循環を支援しています。また、海外パートナーとの連携強化により、高品質なリサイクルプロセスを実現し、地球規模の環境保全に貢献しています。さらに、酒類の輸出やフレコン、ウエス、塩カル等の輸入販売も行っています。



技術研究・分析・環境計量証明

将来発生する廃棄物の再資源化技術や既存技術の低コスト化・低環境負荷化を目指した研究開発を行い、排出事業者に対しリサイクル提案を行っています。また、環境計量証明事業所として高い分析能力を活用し、工場等の排水や騒音・振動の計量証明や廃棄物の溶出試験を正確かつ迅速に実施し、工場管理や廃棄物の適正処分に役立っています。



ビルメンテナンス

専門技術者を擁し、工場・ホテル・事務所ビル・複合商業施設等の建物管理全般に多くの実績と経験を持ち、「美と心地よさを残す」建物管理を行っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

時代の変化や課題に迅速に対応し、事業を通してSDGs (持続可能な開発目標) の実現を目指します。

TOPICS 1

9 松本営業所移転オープン ～脱炭素社会実現に向けた 新たなスタートと地域社会への貢献～

2024年12月に移転オープンした松本営業所（長野県松本市大字笹賀5652-76）は、廃棄物の再資源化と環境負荷の低減に取り組み、脱炭素社会の実現を目指しています。地域と連携し、資源循環型社会の構築と持続可能な社会の実現に貢献します。移転に伴い、12月13日に竣工式を実施し、記念植樹を行いました。翌月には空き缶プレス機を導入し、コスト効率と競争力の向上を図ると共に、環境保護活動を推進し、地域の発展に寄与してまいります。



9 環境計量の新たな一歩 騒音・振動計測登録を 追加し、より精度の高い 環境監視へ

環境計量事業所（技術研究室）は、サービスの拡充を図り、新たに騒音・振動の計測登録を追加しました。これにより、環境監視の精度が向上し、企業の環境対策や法令遵守を支援します。専門技術と最新設備を活用し、精度の高い環境測定を提供すると共に、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



8 創業記念式典を開催

当社は1948年8月1日に創業し、2024年に創業76周年を迎えました。これを記念し、8月1日に創業記念式典を開催し、今後の成長に向けた決意を新たにしました。今後もお客様に最適な価値を提供し続けてまいります。



8 新焼却炉建設に 向け地鎮祭を 執り行いました

「直富商事株式会社 秋古工場」における新焼却炉の建設に向け、地鎮祭を執り行いました。工事期間中は騒音や振動などで地域の皆様にご迷惑をおかけする可能性があります。安全対策と環境保護に配慮しながら進めてまいります。地鎮祭には多くの関係者にご参列いただき、心より感謝申し上げます。皆様のご理解とご支援に深く感謝し、地域に貢献できる施設の完成を目指してまいります。



15 東京営業所の社員が区民の皆さまから 高評価一杉並リサイクル事業協同組合より表彰

東京営業所の社員が、作業態度や集積所の美化への取り組みで区民の皆様から高い評価を受け、杉並リサイクル事業協同組合より表彰されました。東京営業所では、地域社会への貢献を重視し、誠実で丁寧な対応を心掛けています。今回の表彰は、社員が日々の業務に真摯に取り組み、その姿勢が評価された結果です。この受賞を励みに、今後も地域の皆様に信頼される企業を目指してまいります。



8 キャッシュレス 決済を導入 しました

お客様の利便性向上と業務効率化を目的に、本社工場・第2工場・第3工場・松本営業所・東御営業所の受付窓口キャッシュレス決済を導入しました。これにより、現金に加え、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など、複数のお支払い方法がご利用いただけます。今後も、より快適で利便性の高いサービスの提供に努めてまいります。



12 蛍光管・乾電池の中間処理許可 取得に関するお知らせ

2025年2月26日付で、産業廃棄物である蛍光管及び乾電池の中間処理許可を正式に取得しました。これにより、法令を遵守した適正かつ安全な処理を通じて、お取引先様の環境負荷低減及び資源循環型社会の実現に貢献します。「適切な処理先が見つからない」「まとめて回収・処理を依頼したい」といったご要望に対し、迅速かつ確実に対応いたします。

9 光学選別機を 増設しました

本社工場3工場に、2基目となる光学選別機を増設しました。最新の光学技術を導入することで、選別精度が向上し、焼却物の削減と共にRPF向けのリサイクル物の増加が見込まれます。これにより、リサイクル率の向上と生産性の改善が実現されます。さらに、初期消火システムを増設し、安全対策の強化にも取り組んでいます。今後も、より高品質なリサイクルの追求を続け、積極的な設備投資を通じて、環境負荷の低減と資源循環型社会の実現に貢献してまいります。



7 自社製造の高純度 BDFをフォークリフト 燃料として活用

当社製の高純度BDF（バイオディーゼル燃料）を、自社のフォークリフト燃料として活用し、CO₂排出量の削減と資源循環型社会の実現に貢献しています。自社での実践により、高品質で安定供給できることを証明し、持続可能なエネルギー活用の可能性を広げています。



7 リチウムイオンバッテリー搭載 フォークリフトを導入

工場内の物流効率向上のため、市場事業所と秋古工場にリチウムイオンバッテリー搭載のフォークリフトを導入しました。この最新型フォークリフトは、従来のバッテリーより充電時間が短縮され、長時間の安定稼働が可能です。また、環境に優しく、CO₂排出削減にも貢献しています。効率的で持続可能な作業環境を実現し、生産性向上に寄与することが期待されます。



TOPICS 2

4 リサイクル授業 を開催

リサイクルの仕組みとその重要性をより深く理解していただくために、小学校、ろう学校、養護学校など21校を対象に工場見学を実施しました。また、小学生の夏休みの自由研究を支援し、環境保護の大切さを学ぶ機会も提供しました。これらの取り組みは、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標13「気候変動に具体的な対策を」の実現に寄与するものです。



1 フードバンクに協賛

フードバンク信州様の活動に協賛し、寄付と年間5回の食料品寄贈を継続しています。特に生活に困難を抱える子どもたちへの支援を通じて、SDGsの目標1「貧困をなくそう」、目標2「飢餓をゼロに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」の達成に向けた取り組みを後押ししています。



1 「信州子どもカフェ（子ども食堂）」に寄付

地域の子どもたちを支援する「信州子どもカフェ（子ども食堂）」に寄付を行いました。長野県では、学習支援や食事の提供、悩み相談、学用品のリユースなどを通じて、子どもたちの居場所づくりを支援する活動が「信州子どもカフェ」として月1回以上開催されています。私たちは、こうした地域の取り組みを応援し、すべての子どもたちが安心して過ごせる環境の実現を目指しています。



1 “子ども学習支援プロジェクト”に協賛

社会貢献活動の一環として、「子ども学習支援プロジェクト」に協賛しました。このプロジェクトは、学習環境が整っていない子どもたちに教材や文房具を提供し、将来の可能性を広げることを目的としています。賛同した社員が家庭にある未使用の文房具を持ち寄り、事務局へ寄贈しました。



4 「長野県学校科学教育奨励基金」に協力

公益財団法人長野県学校科学教育奨励基金に協力しました。本基金は、長野県内の小・中・高等学校及び特別支援学校が申請する、自然科学や人文科学などの研究費を支援し、科学教育の振興に貢献しています。



2 「学校における食育団体 等活用事業」に登録

長野県推進事業「食育団体等活用事業」に新たに登録されました。本事業は、公立の小・中学校や特別支援学校と地域が連携し、食育の推進と充実を図る取り組みです。当社もその一環として、堆肥化施設の見学受け入れを通じて、食育活動に参画することとなりました。今後も、食育や環境教育を通じて地域との繋がりを深め、持続可能な社会の実現を目指して取り組んでまいります。



4 中国河北省石家庄市 直富希望小学校 木下社長訪問及び 先生・生徒の招聘

当社が2004年に建造寄付した中国河北省石家庄市黄皇島山村の「直富希望小学校」から、先生1名と生徒4名を日本に招待し、交流を深めました。また、当社社長・木下が「教育支援協力事業に関する覚書」に基づき現地を訪問し、教育環境の向上に向けた支援を継続しています。今回の交流が、日中友好の促進と共に、子どもたちにとって貴重な学びの機会となることを願っています。



3 世界中の子どもたちの 命を救う活動に 協賛しています

世界では、ワクチン不足により、1日約4,000人の子どもたちが予防可能な感染症で命を落としています。当社は「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (ICV)」と提携し、ペットボトルキャップを活用したワクチン支援活動に協力しています。この取り組みは、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献しています。今後も、環境保護と社会貢献の両立を目指し、地域と連携しながら活動を継続してまいります。



1 カンボジアへ井戸を寄贈

「井戸を世界中に22万基掘る会」の活動に賛同し、カンボジアに井戸を寄贈しています。この取り組みは、毎年工場見学に訪れる20校以上の小学校に配布している世界地図を通じて実現しており、これまでに7基を寄贈、現在8基目の寄贈を進めています。井戸の寄贈により、安全な飲料水の確保や感染症リスクの低減に貢献すると共に、女性や子どもたちの負担を軽減し、教育や経済活動への参加を促進します。この活動は、SDGsの目標1（貧困をなくそう）、目標3（すべての人に健康と福祉を）、目標5（ジェンダー平等を実現しよう）、目標6（安全な水とトイレを世界中に）に繋がる重要な取り組みです。



4 石家庄市中学生 友好代表団来社

長野市の友好都市である中国・石家庄市は、当社が直富希望小学校を設立しており、非常に縁の深い都市です。長野市との友好関係の一環として、今回石家庄市からの代表団が来長され、当社にも見学にお越しくださいました。石家庄市中学生友好代表団の皆様、ありがとうございました。



TOPICS 3



環境懇談会を開催

各工場の地元区にて、環境保全懇談会を開催しました。1年間の活動実績や資源物取扱実績を報告し、質疑応答と意見交換を行いました。活発な意見交換があり、有意義な時間となりました。いただいた貴重なご意見を参考に、今後も地元区の皆様と共に地域貢献に努めてまいります。



大島甚句祭りに参加

長野市の無形文化財である大島(まめじま)地区で盛大に開催された「大島甚句祭り」に、当社から約50名が参加しました。2024年で45回目を迎えたこの祭りでは、社員一同が楽しみながら盛り上がりました。今後も地域の皆様との交流を大切に、継続的に参加してまいります。



秋古工場 花壇の花植え替え活動

秋古工場では、国道19号線に隣接する緑地帯の花壇への花の植え替えを、「ボランティア・サポート・プログラム」の一環として年2回(春・秋)実施しています。この活動は、地域の美化と環境への貢献を目的としており、通行する人々に癒しと快適な景観を提供しています。今後も地域との調和を大切に、環境保全に努めてまいります。



「命をつなぐ救命処置とAED」活動を推進

当社が加入する「全国スマイル・プログラム推進協議会」は、廃棄物処理業者とリサイクル業者が結成したボランティア団体で、AEDや普通救命技能の普及、災害時の支援助資提供など、地域社会貢献活動を行っています。当社では毎年、救命時に正しく対応できるように、AED操作方法や心肺蘇生法の胸骨圧迫訓練を実施しています。また、当社が加入する長野市委託清掃事業協同組合(長野市の家庭ごみ・資源物収集業務委託)のオレンジ色のパッカー車や各事業所にAEDを設置しています。今後も「命をつなぐ救命処置とAED」の普及を通じて、大切な人々、職場、地域の安全を守る活動を続けてまいります。



社員の家庭で余ったカレンダーを寄贈

長野県環境保全協会主催の「カレンダープレゼント」に、社員の家庭で余ったカレンダーを寄贈しました。この年末恒例の取り組みは以下の目的で実施されています：
・環境保全：余ったカレンダーを再利用し、廃棄物削減に貢献。
・資源の有効活用：使用されなかったカレンダーを地域で必要としている方々に届け、資源を有効活用。
・地域貢献：集めたカレンダーを地域住民に無償で提供し、生活に役立ててもらおう。
社員も積極的に参加し、環境への配慮と地域の繋がりを大切にこの取り組みを支えています。

学生チャレンジ支援活動を強化

当社は、次世代を担う若者の成長を支援することを目的に、高校・大学との連携を深め、講義やフィールドワーク、インターンシップなどの教育支援活動を積極的に実施しています。

1. 高校・大学での講義

当社の社員がゲスト講師として登壇し、環境問題やサステナビリティ、業界動向について講義を行いました。これにより、学生たちは実践的な視点を獲得し、学びを深める機会となりました。2024年度は、長野県東御清翔高校の「近隣企業のSDGsの取り組みを知ろう」、信州大学全学教育センターの「環境マインド実践基礎論」、信州大学松本キャンパスの「大しごとく」で講義を実施し、学生との活発な意見交換も行いました。



2. 長野高校と連携したフィールドワークを実施

長野高校からの要請を受け、同校が進める『長野グローバルプロジェクト』に協力し、当社の工場見学を中心としたフィールドワークを実施しました。この取り組みでは、地域の課題解決に向けた実践的な学びを提供し、学生たちに自社の業務や環境への取り組みについて理解を深めてもらいました。今後も地域社会との連携を大切に、未来を担う若者たちの成長をサポートしてまいります。



3. インターンシッププログラムを実施

将来のキャリア形成を支援するため、インターンシッププログラムを実施しました。学生たちは実際の業務を通じてスキルを磨き、企業活動のリアルな現場を体験しました。2024年度は、長野大学、福井県立大学、長野工業高校等の学生を受け入れ、学びの機会を提供しました。今後も教育機関との連携を強化し、より多くの学生に学びの機会を提供し、社会に貢献してまいります。



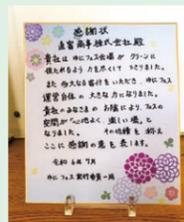
4. 長野県立大学との連携による地域課題解決活動を支援

学生たちが企画する地域課題解決活動を支援するため、公立大学法人長野県立大学に寄付を行い、大学と学生が取り組むイベントを支援しました。イベントのポスターを当社のパッカー車にラッピングし、地域活性化に貢献しました。この取り組みを通じて、学生たちの活動への支援を積極的に行い、社会貢献にも繋がっています。今後も地域との繋がりを大切に、様々な支援活動を展開してまいります。



5. 「ゆにフェス」への協賛とごみ収集協力に感謝状

2024年7月に長野県立大学で開催された「ゆにフェス」における寄付及びごみ収集活動への協力に対し、ゆにフェス実行委員会様より心温まる感謝状を頂戴しました。本イベントは、健康者と障がい者が共に楽しみながらコミュニケーションを深め、他者理解を促進する素晴らしい趣旨のもとで開催されました。私たちはその意義ある活動に協力できたことを大変光栄に思います。今後も地域社会との連携を強化し、持続可能な社会の実現に向けて努力を続けてまいります。改めて、感謝状を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。



TOPICS 4

荻原長野市長が 本社第3工場を視察

荻原長野市長が本社第3工場を訪れ、災害ごみ受け入れ施設の確認と共に、長野市の「ゼロカーボン宣言」に基づく当社の脱炭素化への取り組みを紹介する機会となりました。市長は、説明を受けながら質問を交え熱心に耳を傾け、社員と活発に意見交換を行いました。視察を通じて、当社の取り組みについて深く理解していただけたことを大変光栄に思います。ご見学ありがとうございました。



第1回『Eco Catcher Battle』 初代世界チャンピオンに輝く!

『Eco Catcher Battle』(エコキャッチャーバトル)が開催され、当社から選ばれた長野県代表チームが見事優勝し、初代世界チャンピオンに輝きました。本イベントは、eスポーツと社会貢献を融合させた新しい形の競技で、環境問題への意識向上を目的とし、競技を通じて地域社会への貢献を目指しています。今回の優勝により、eスポーツの新たな可能性と社会貢献の重要性を広く発信することができました。



新テレビCM放送開始! 廃棄物リサイクルで脱炭素社会へ貢献

本社第3工場の稼働に伴い、当社の新しいテレビCMが放送開始されました! CMでは、廃棄物リサイクルを通じて、脱炭素社会の実現に向けた当社の取り組みを紹介しています。これにより、より多くの方に当社の活動を知っていただき、共に未来へ貢献できることを願っています。ぜひ、テレビCM「今日より篇」をご覧ください!



▲CMはこちら

信州屋根ソーラー普及パートナーとして登録

2024年10月31日付で、当社は長野県が推進する「信州屋根ソーラー普及パートナー」に登録されました。この登録制度は、ゼロカーボン社会の実現に向けて、屋根ソーラーの普及を協力を企業を「信州屋根ソーラー普及パートナー」として登録し、普及拡大を目指す取り組みです。当社は地域の持続可能な社会づくりと再生可能エネルギーの普及を推進するため、この活動に参加します。今後、社内やお取引先様への導入促進を通じて、環境に配慮した社会づくりに貢献してまいります。



本社第2工場

メディア掲載実績

当社の取り組みは、新聞、テレビ、機関誌など、様々なメディアで紹介されました。以下に、主な掲載情報をまとめました。

SBC信越放送(2024年4月20日放送)

テレビ番組「ZOOM U!エコロジー最前線」で、当社のリサイクル事業や本社第3工場の最新設備、SDGsへの取り組みが紹介されました。



「輸送リーダー」(2024年6・7月号)

いすゞ自動車株式会社発行の輸送ビジネス情報誌「輸送リーダー」に、当社の取り組みと長野県初のEVトラック導入に関する記事が掲載されました。



週刊循環経済新聞

2024年4月22日号：本社第3工場の取り組みや最新技術の紹介
2024年5月27日号：市場事業所の高純度BDF製造の紹介
2024年6月24日号：EVトラック(電気自動車)の導入に関する紹介
2024年8月5日号：半透明フレコンバッグ販売に関する紹介
2025年3月3日号：半透明フレコンバッグ販売に関する紹介

信濃毎日新聞(2024年11月12日)

災害時の廃棄物受け入れ・処理に関するBCP対策の紹介

長野経済新聞

2024年7月5日：長野県立大学と学生が協力したイベントPR協力についての紹介
2024年12月5日：『Eco Catcher Battle (エコキャッチャーバトル)』イベントに関する記事

日刊市況通信(2024年7月9日)

長野県立大学と学生が協力したイベントPR協力についての記事

日刊資源新報(2024年8月7日)

本社第3工場の取り組みや最新技術についての記事

日本経済新聞(2024年10月9日)

本社第3工場の取り組みや最新技術についての記事

市民タイムス(2025年2月25日)

広告特集「地域を牽引」松本平の工業団地で光るわが社 シリーズ第2弾」の中で、大久保工場公園団地に所属する企業の一つとして松本営業所が紹介



これらの掲載を通じて、当社の取り組みが広く認知され、地域や業界に貢献していることを実感しています。

環境



環境方針 基本理念

当社は循環型社会の担い手として“安全はすべてに優先する”“美と心地よさを残す”の企業理念に基づき、人間の社会活動と地球環境の保全との調和に貢献することを目指すとともに、自らが及ぼす環境への負荷を軽減し、もって地域住民との協調を図ります。

当社の事業活動が環境に与える影響を考慮し次の項目を重点事項として取り組みます。

- ① お客様の環境負荷低減の為にあらゆる廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成に寄与します。
- ② 省資源・省エネルギーを推進します。
- ③ 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の環境に与える影響を低減し、環境汚染の防止を図ります。
- ④ 花と緑に囲まれた工場を創造・維持し、地域環境との調和を図ります。

環境マネジメントシステム

環境保全に貢献するため、ISO14001の登録認証を受け、環境マネジメントシステムに取り組んでいます。事業活動の目標達成がISOの目標と連動する仕組みの中で、エネルギーの効率的運用、廃棄物の再資源化、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。



本社・本社工場



太陽光発電システム

本社第2工場の屋根に太陽光発電パネル270枚を設置し、地球環境に配慮した負荷の少ないクリーンエネルギーの普及・啓発活動を行っています。



GPS付ドライブレコーダーによるCO₂削減効果

1. 運転の効率化

GPS機能により、運転ルートや速度、走行時間をリアルタイムで把握でき、無駄なアイドリングや非効率なルート選択を減少させることができます。これにより燃料消費が抑えられ、CO₂排出量が削減されます。

2. エコ運転の促進

ドライブレコーダーには急加速、急ブレーキ、過剰なアイドリングといった危険運転を警告する機能を搭載しており、これによりドライバーがエコ運転を意識しやすくなります。エコ運転を実践することで、燃費が向上し、結果としてCO₂の排出量が減少します。

3. 運転データの分析

GPS付ドライブレコーダーで収集した運転データを分析し、運転行動を改善することができます。例えば、運転の無駄を見つけて指導を行うことで、全体的な燃料消費量を削減し、CO₂排出量の低減に繋がります。

フロン類の回収実績

当社は第一種フロン類充填回収許可業者として、フロンガスの適正な回収を徹底しています。廃冷蔵庫、エアコン、自動販売機などからフロンガスを確実に回収し、法令に基づき適切な処理を行っています。これにより、温暖化防止やオゾン層の保護に貢献し、環境への負荷を最小限に抑え、共に、持続可能な社会の実現を目指しています。

フロン排出抑制法に基づき、
引き取りを実施した状況は次のとおりです。

フロン類(引取量) 1,014.84kg

コンプライアンス・リスク管理



基本方針

- ① 経営理念を具現化する為に、社員への遵法・環境教育を充実させ、教育内容の周知徹底及び浸透を図る
- ② 廃棄物処理法違反を起こさない

遵法報告

2024年度において、行政処分及び行政指導はありませんでした。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守するため、設備の点検記録やマニフェストの保管管理など、社内独自のルールを整備しています。また、内部監査制度を活用し、違反を未然に防止するための対策を講じています。

コンプライアンスマニュアル

コンプライアンスマニュアルは、社員が倫理観を持ち、企業理念に基づいて行動するための指針を提供するものです。このマニュアルには、法令遵守や企業倫理に関する基本的な方針、具体的な行動規範が記載されています。社員一人ひとりが公正で誠実な行動を実践し、企業価値や社会的信用の向上に貢献できるようサポートします。また、マニュアルは定期的に見直し、最新の法令や社会的要求に適應するよう更新されます。

廃棄物の知識を深める

廃棄物処理業者として、社員が廃棄物に関する法律を理解することは不可欠です。そのため、知識向上を目的に、コンプライアンス担当が主催する「遵法勉強会」を毎月開催しています。勉強会の動画データは専用サイトで公開し、社員が繰り返し視聴できる環境を整えています。また、必要に応じて外部研修を受講し、専門的な知識を習得すると共に、社内勉強会を通じて周知徹底を図っています。さらに、社外取締役(弁護士)による勉強会も定期的に開催し、法的知識の向上を推進しています。

2024年度に実施した遵法勉強会の内容

- 長野市産廃処分業許可
- 本社第3工場の積替保管品目
- 印紙の取り扱い
- 電子マニフェスト(排出者の操作等)
- 廃棄物処理業の許可内容
- 職場におけるLGBTQ
- PCB 特別措置法
- 水銀使用製品産業廃棄物・石綿含有廃棄物等の注意点
- 再資源化事業等高度化法
- 本社第3工場許可内容他
- 資源循環とSDGsの取り組み
- 介護休業制度について



コンプラ HOT LINE

法律違反や不正行為などのコンプライアンス問題が発生、またはその可能性を感じた社員が、社外の専用窓口へ直接通報できる仕組みです。会社や社員による法令違反やその兆候、ハラスメントの被害・目撃など、社内で報告しにくい事案も安心して通報できます。

コンプライアンス行動指針

毎日、朝礼でコンプライアンス行動指針を読み上げ、社員の遵法意識の向上に努めています。

内部監査

法令遵守や業務の適正化を目的として、定期的に内部監査を実施しています。各部門の業務が社内規程や関連法令に基づいて適切に行われているかを確認し、不正やリスクの防止、業務の効率化を図ります。監査で指摘された事項については速やかに改善を行い、より透明性の高い企業運営を推進しています。

外部監査

客観的かつ専門的な視点から企業運営の透明性と適正性を確保するため、外部機関による監査を定期的に実施しています。外部監査では、企業のガバナンスやリスク管理体制、コンプライアンスの実効性などを総合的に評価し、第三者の立場から改善点を指摘・助言いただくことで、経営の健全性を高めています。監査結果については、経営層及び関係部門と共有し、外部の知見を活かしながら組織全体の継続的な改善に取り組んでいます。今後も外部監査を活用し、社会的責任を果たしながら、より信頼される企業運営を目指してまいります。

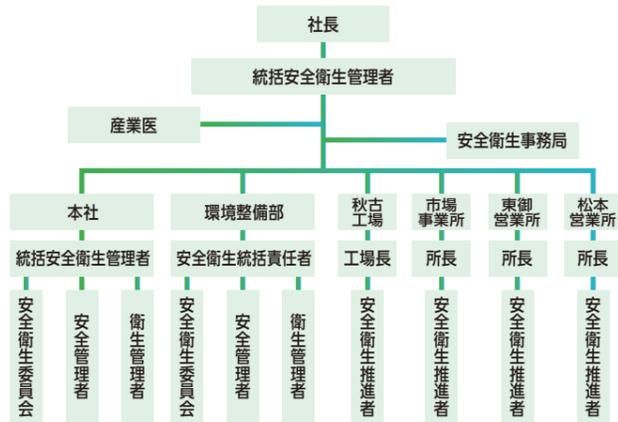
安全衛生の取り組み



基本方針 | 事故を起こさない、社員にケガをさせない
安全衛生活動のレベルアップ

2024年度安全衛生スローガン

安全はルールを守る心から 基本動作で安全作業



労働安全

安全推進体制

各拠点の責任者で安全衛生委員等を構成し、安全衛生に関する方針の立案、活動の推進、指導を継続し、安全衛生活動に取り組んでいます。

安全大会開催

長野市内の家庭ごみを回収する環境部清掃グループにて、安全大会を開催しました。生活道路を走行する際に発生しやすい後進運転時のリスクを軽減することを目的に、誘導者と運転手が協力して後進運転を行う際の声のかけ方や立ち位置、適切な速度について参加者同士で確認し合い、改善点を指摘し合うことで運転技術の向上を図りました。今後も一人ひとりが安全の基本ルールを遵守し、事故ゼロを目指します。

腰痛防止教育

従業員の健康促進を目的として「腰痛防止」をテーマに、産業医の先生を招いて、産業医衛生講話を開催しました。産業医の先生からは腰痛の原因や症状、治療法、日常生活のアドバイス、さらにストレッチの実践について詳しくご説明いただきました。今後も従業員の健康維持に努めてまいります。

マスクフィットテストを実施

労働安全衛生法施行令、特定化学物質障害予防規則(特化則)等の改正に伴い、令和5年4月1日より、呼吸用保護具(マスク)が正しく装着できているか確認するため、年に1回定期的にマスクフィットテストの実施が義務付けられ、社内の業務従事者に対して同テストを実施しました。マスクを着けてフードを被り、フードの中にサッカリン等の試験溶液を噴霧して甘味成分を感じるかどうかでフィット性を確認します。作業者の健康と安全を守るため、今後も定期的実施してまいります。

ドライブレコーダーの活用

当社では、安全管理の一環としてドライブレコーダーを積極的に活用しています。これにより、運転手は安全運転を意識し、危険運転を防止するための注意喚起が行えます。事故やトラブル発生時には、記録された映像を基に迅速かつ正確に対応し、問題の早期解決を図ります。また、運転マナーの向上を目指し、映像を活用した教育やフィードバックを行い、運転技術の向上を図っています。さらに、収集データの最適化にも役立ち、効率的な運行管理を実現しています。

安全遵法パトロール

毎月実施される安全・遵法パトロールでは、安全かつ法律に則った作業が行われているかを確認します。指摘事項が見つかった場合、進捗管理を行い、是正措置を義務付けることで、問題の早期解決と再発防止を図っています。

2024年度指摘件数:80件 | 整理整頓、不安全行動、不安全状態を指摘しました



交通安全の取り組み

ながらスマホの危険性に関するビデオ放映会、交通ヒヤリハットマップの作成と社内周知、交通事故当事者への再教育、トラック同乗指導者教育、バック事故防止のための映像教育、雪道運転の交通安全ビデオ放映、高齢ドライバーの運転適性検査の実施、ドライバーに対するOD式運転適性検査結果に基づく指導を行いました。

安全体感研修

工場の現場に従事する社員を中心とした「安全体感研修」を外部の研修施設にて実施しました。この研修は、職場での安全意識を高め、事故防止に向けた取り組みを強化することを目的としています。専門の講師による理論と実技の講義を通じて、安全に関する知識を深め、参加者は実際の危険な状況を体験しながら、安全行動の重要性を再認識しました。

外部講師による勉強会開催

外部から専門家を講師として招き、社内の有資格者を対象とした勉強会を開催しました。専門家による解説やデモンストレーションを通じて、正しい操作手順や事故防止のための注意点について徹底的に指導していただきました。このような勉強会は、従業員の技能向上や安全意識の向上に貢献するだけでなく、労働災害の予防にも大きく寄与します。今後も定期的に安全教育や勉強会を実施し、従業員の安全を確保していくことが重要です。

開催した勉強会：積載形トラッククレーン勉強会、フォークリフト勉強会、交通安全勉強会

年間安全表彰

年間を通して安全衛生に係る改善・改革等が特に優れ、労働災害の減少を図り、他のグループの模範と認められる優れた部門を表彰しています。



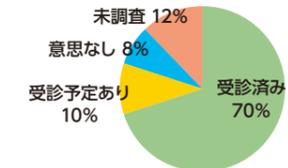
- 東御営業所: 前年からの大幅な事故件数の削減!
- JR事業部: 複数拠点での多岐にわたる業務において全社平均を上回る事故削減率と事故件数を達成!
- 市場事業所: 全社の中で唯一の事故ゼロ達成!

労働衛生

健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門) 認定

経済産業省及び日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、健康診断再検査の推奨、ストレスチェック100%実施等の取り組みが評価され、健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門) に認定されました。

2024年度再検査率



2030年度までに再検査率80%目標 (SDGs重点取り組み事項)



健康づくりチャレンジ宣言

全国健康保険協会 長野支部の「健康づくりチャレンジ宣言」に登録し、心身共に元気な職場『健康企業』を目指しています。

活動内容

1. 社員の健康管理、健康増進のための情報を、社内ツールを活用して発信
2. 定期健康診断の結果、要治療、要精密検査となった方への再受診を推奨



健康・医療に関する無料相談サービス



特定保健指導

生活習慣病の重症化を防ぐため、保健師による生活改善指導を実施しています。2024年度は、11月に19名を対象に実施しました。



産業医健康相談

- 長時間勤務の人
- メンタルも含めて不安なことがある人
- 健康診断の結果についてより深く知りたい人
- ケガ(労災等)からの職場復帰相談



産業医より提出される報告書から、配慮すべき事項の指導を受け、会社として社員の健康管理に役立っています。

病気入院補償制度

病気入院保障制度は、従業員が病気で入院した際に、経済面での給付金支給や精神面でのサポートを提供し、従業員の生活の安定と安心を支援する制度です。

スポーツ支援



スピードスケート

当社所属のスピードスケート選手、山田梨央さんの 2024-2025 シーズンは、ひたむきな努力と挑戦の結果、素晴らしい成果を収めました。特に、自身初の W 杯 3 位入賞という輝かしい成績を収め、選手としての成長を見事に証明しました。山田選手の活躍は私たちに大きな誇りと共に、スタッフや支援者全員に勇気をもたらしてくれました。彼女のひたむきな努力を間近で見守ることができ、心から感謝の気持ちでいっぱいです。そして、2025-2026 シーズンに向けて、山田選手の更なる成長を信じ、引き続き熱い声援を送ります。今後のシーズンで、さらに大きな成果を上げ、まさに大輪の花を咲かせることを期待しています。私たち Team NAOTOMI は、共に夢を追いつけることを誓います。次なる挑戦に向けて全力で進む山田選手に、引き続きご声援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2024-2025年シーズン結果

※一部大会のみ抜粋して掲載。
その他大会結果は当社ホームページでご覧いただけます。



●ISU世界距離別スピードスケート選手権大会結果

開催期間：2025年3月13日～2025年3月16日 開催地：ノルウェー ハーメル

1000m (1分15秒61) 6位

●2024/25 ワールドカップスピードスケートトマショフマゾウィエツキ大会結果

開催期間：2025年2月21日～2025年2月23日 開催地：ポーランドトマショフマゾウィエツキ

1000m (1分16秒33) 3位

●第9回アジア冬季競技大会結果

開催期間：2025年2月7日～2025年2月14日 開催地：中国 ハルビン

500m (39秒00) 7位 1000m (1分16秒88) 5位

1500m (2分00秒38) 4位

●第31回全日本スピードスケート距離別選手権大会結果

開催期間：2024年10月25日～2024年10月27日 開催地：日本 長野県長野

500m (38秒33) 3位 1000m (1分16秒44) 3位

1500m (1分58秒77) 3位

信越硬式野球クラブ

当社社員の大澤優人選手は、長野市の社会人野球チーム「信越硬式野球クラブ」に所属し、日々技術を磨きながら活躍しています。2024年シーズン、大澤選手は都市対抗予選に挑み、最後まで諦めない姿勢で戦いましたが、惜しくも二次予選で敗退しました。また、日本選手権予選では決勝戦まで進出する健闘を見せましたが、惜しくも本大会への出場は叶いませんでした。しかし、これらの経験は大澤選手にとって大きな成長の糧となり、更なる飛躍に繋がります。2025年シーズンは、昨年の悔しさをバネに、都市対抗・日本選手権の本大会出場を目指して挑戦を続けます。頑張れ! 信越硬式野球クラブ! 社員一同、熱いエールを送ります!



2024年シーズン結果

●個人成績 投球回数：9回1/3、防御率：4.82、
奪三振数：9個、与四死球数：3個、
被安打数：7本、被本塁打数：1本、失点数：5点

ダイバーシティへの取り組み



ダイバーシティの推進と働きやすい職場環境づくり

持続的な企業価値の向上を実現するためには、「人」こそが原動力であり、あらゆる多様性を尊重し、社員一人ひとりが自らの強みを最大限に発揮できる職場づくりに取り組むことが、企業の成長はもちろん、ステークホルダーの成長にも繋がります。社員一人ひとりが使命感を持ち、自発的・積極的に挑戦できると共に、能力と意欲ある社員が適切に評価され、活躍できる組織を目指します。そして、互いの個性を受け入れ、組織として活かしあえる職場環境をつくり上げていきます。また、社員一人ひとりが仕事と私生活を両立させることができ、ライフステージに応じて柔軟な働き方を選択しながら、安心して働ける環境を整えることにより、能力を最大限に発揮できる職場を目指しています。

～ 人事・労務データ ～

(2025年2月末現在)

社員数		新卒採用	新卒5年	平均	障がい者	定年後	産休育休中
合計	男女比(男性/女性)	(男性/女性)	未満の離職率	勤続年数	社員数	再雇用社員数	社員数
727名	427名/300名	6名(5名/1名)	5.0%	9.68年	11名	22名	6名

●長野県社員の子育て応援宣言

社員一人ひとりのワークライフバランスを推進するため、子育てしやすい環境を整備し、安心して育児ができる環境づくりを目指し、「社員の子育て応援宣言」を掲げています。(登録期間：2024年1月9日～2026年1月8日)

宣言内容

1. 育児休業規程を積極的に周知し、取得しやすい雰囲気づくりに努めます。
2. 子どもを持つ社員の学校行事やPTA活動への参加を推奨します。



●長野県職場いきいきアドバンスカンパニー アドバンスプラス認証

長野県「職場いきいきアドバンスカンパニー」のアドバンスプラス認証をいただいています。(認証期間：2023年7月1日～2025年6月30日)

※「ワークライフバランスコース」「ダイバーシティコース」「ネクストジェネレーションコース」の3コース全て認証

職場いきいきアドバンスカンパニー認証とは

仕事と家庭の両立支援や雇用の安定を図り、従業員がいきいきと働き続けられる職場環境を作るために、短時間正社員制度など多様な働き方を導入し、実践的な取り組みを行っている企業、法人、団体、個人事業主を認証する長野県の制度です。



●ハラスメント防止勉強会

職場環境の向上と従業員の安全・幸福を最優先に考え、ハラスメント防止に向けた積極的な取り組みを行っています。その一環として、ハラスメント防止に関する従業員の意識向上と理解促進を目的とした勉強会を実施しました。この勉強会では、ハラスメントの種類、予防方法、そして適切な対処法についての知識を共有しました。



●能力開発(資格取得応援制度)

組織の活性化や社員の成長意欲の向上を目的とし、社員がスキルアップのために資格取得に取り組むことを奨励・支援する制度です。

該当資格(一例)：

eco検定、ビジネスマネージャー検定、コミュニケーション検定、産業廃棄物処理検定、秘書検定等

●懇親会補助制度

普段一緒に仕事をしている部署の仲間で、情報共有やお互いの親睦を深めることを目的とした懇親会を定期的に関き、年に2回一人あたり3,000円を上限とした懇親会費を補助しています。

●その他

社内報発行(隔月)、人事考課制度、正社員登用制度、成人祝い金、永年勤続表彰、お子様小学校入学祝金



●年間優秀社員表彰

毎年、社員の努力と成果を称えるために「年間優秀社員表彰」を実施しています。各分野で活躍する優秀な社員を選出し、その貢献を讃えています。受賞者は、それぞれの分野で模範的な働きを示し、会社の成長や企業理念の実現に大きく貢献しました。今後も、社員一人ひとりが意欲的に成長し、活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。

2024年度は	優秀営業職…1名
14名の社員が	優秀事務職…3名
表彰されました。	優秀ドライバー職…6名
	優秀ヤード職…4名

●育児と仕事の両立支援

産前産後休業・育児休業制度

この制度では、原則として子どもが2歳に達するまで休暇を取得できます。性別や年齢に関係なく、多様な人材が活躍でき、休暇取得後も安心して働き続けられる環境づくりをしています。



出生時育児休業(産後パパ育休)

育児休業制度とは別に、子どもが出生後8週間以内に最大4週間まで育児休業を取得できます。男性社員の育休取得率も年々向上しています。

2024年度育児休業取得率(出生時育児休業含む)

女性100%(対象者2名/取得者2名)

男性33%(対象者3名/取得者1名)

育児休業取得率…2024年度中に新たに育児休業の取得が可能となった社員数に対する2024年中に新たに育児休業を取得した社員数の割合

育児短時間勤務制度

満3歳になるまで短時間勤務できる制度を導入しています。

●介護と仕事の両立支援

介護休業制度

要介護状態の家族一人について、93日の範囲内で3回を上限として休業を取得できます。

●高齢者の社員の活躍

定年退職後、再雇用制度を利用して60歳以上の社員が活躍しています。長年の経験やスキルに基づく人脈やノウハウを活用するだけでなく、多様な価値観を社内に取り込み、組織の活性化を図ることができます。

●障がいのある社員の活躍

障がいのある社員が様々な職場で活躍しています。作業環境の改善など、働きやすい職場づくりのきっかけとなっています。



友好会活動

社員親睦会である「友好会」を結成し、社員が主体となって様々な行事を企画・運営しています。2024年度も盛りだくさんの内容で行事が開催されました。こうした行事では、普段あまり会うことのない遠方の営業所の仲間と交流し、コミュニケーションを深めることができます。

2024年度活動実績

開催月	活動内容
2月	能登半島災害義援金寄付
5月	ソフトボール大会
6月	社員旅行(熱海温泉コース)
7月	ゴルフコンペ(篠ノ井ゴルフパークウィーゴ)
11月	BBQ大会



ソフトボール大会



社員旅行

実績データの開示

環境測定データ

工場における環境保全対策として、臭気、排水水質、騒音、振動などの項目を定期的に測定しています。

2024年度から本社第3工場も加わり、これらの測定項目についても適切な管理を行っています。測定結果は、すべての項目で法令及び自主基準を遵守していることが確認されました。また、周辺住民や社員の健康に悪影響を及ぼさないよう、引き続き厳格に管理を行っています。



●排水水質測定結果

測定項目名 【単位:mg/L(※pHは無単位)】	一律排水基準	本 社			秋古工場 2024年10月	市場事業所 洗車場 2024年7月	苦桃工場 2024年10月	東御営業所 2024年5月
		北側 2024年12月	南側 2024年12月	第3工場 2024年11月				
水素イオン濃度 (pH)	5.8~8.6	6.8	6.6	7.5	7.5	6.3	7.9	7.5
生物学的酸素要求量 (BOD)	160(600*)	<0.5	3.2	15	2.4	9.5*	2.5	-
浮遊物質 (SS)	200(600*)	<1	1	41	5	6*	<1	2
ノルマルヘキサン抽出物 (鉱油類)	5	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ノルマルヘキサン抽出物 (動植物油脂類)	30	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
カドミウム	0.03	-	-	-	<0.005	-	-	-
シアン	1	-	-	-	<0.01	-	-	-
鉛	0.1	-	-	-	<0.05	-	-	-
六価クロム	0.5	-	-	-	<0.02	-	-	-
ひ素	0.1	-	-	-	<0.002	-	-	-
水銀	0.005	-	-	-	<0.0005	-	-	-
1,1,1-トリクロロエタン	3	-	-	-	<0.0005	-	-	-
トリクロロエチレン	0.1	-	-	-	<0.002	-	-	-
テトラクロロエチレン	0.1	-	-	-	<0.0005	-	-	-
ほう素	10	-	-	-	0.2	-	-	-
ふっ素	8	-	-	-	0.32	-	-	-
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	-	-	-	1.8	-	1.2	-

*長野市下水排除基準に該当。 ※<は、定量下限値未滿を示します。

●工場敷地境界・周辺の騒音・振動測定結果

測定項目名【単位】	工場・営業所		本社工場		秋古工場		苦桃工場		東御営業所		市場事業所		
	測定日		2024年12月		2024年12月		2024年4月		2024年5月		2024年7月		
	基準	騒音	自主基準 70		環境基準 60		自主基準 65		規制基準 70		規制基準 70		
		振動	自主基準 70		保全目標 65		—		規制基準 70		規制基準 70		
測定地点	敷地境界				敷地境界				敷地境界				
	東	西	南	北	東	西	南	北	南東	北東	北西	直近民家との敷地境界	
騒音【dB (A)】	64	61	62	62	51	54	55	61	45	68	69	60	65
振動【dB】	44	33	46	46	<30	-	-	-	-	35	30	31	39

※<は、定量下限値未滿を示します。

●排ガス関係(ばい煙発生施設)

測定項目名【単位】	秋古工場廃棄物焼却炉			苦桃工場蒸気ボイラー		
	排出基準	結果	測定年月	排出基準	結果	測定年月
ばいじん量酸素補正值【g/m ³ 】	0.25	0.002	2024年9月	0.3	0.001	2024年7月
硫酸化合物排出量【m ³ /h】	5.3	<0.2	2024年9月	1.7	0.015	2024年7月
窒素化合物量酸素補正值【cm ³ /m ³ 】	法的基準なし	49	2024年9月	260	61	2024年7月
塩化水素量酸素補正值【mg/m ³ 】	700	56	2024年9月	-	-	-
全水銀【μg/m ³ 】	50	3.8	2024年9月	-	-	-
ダイオキシン類【ng-TEQ/m ³ 】	10	0.28	2025年1月	-	-	-

※<は、定量下限値未滿を示します。

●工場敷地境界・周辺の臭気測定結果

測定項目名【単位】	基準	秋古工場周辺環境 2024年12月	苦桃工場風下周辺環境 2024年7月	東御営業所風下敷地境界 2024年5月
臭気指数	なし	< 10	< 10	—
スチレン【ppm】	0.8	—	—	< 0.03

※<は、定量下限値未滿を示します。

●特定悪臭物質の測定結果

測定項目名 【単位:ppm】	基準	本社第3工場北側敷地境界 2024年8月	本社第3工場南側敷地境界 2024年8月
アンモニア	5	< 0.1	< 0.1
メチルメルカプタン	0.01	< 0.002	< 0.002
硫化水素	0.2	< 0.002	< 0.002
硫化メチル	0.2	< 0.002	< 0.002
二硫化メチル	0.1	< 0.002	< 0.002
トリメチルアミン	0.07	< 0.001	< 0.001
アセトアルデヒド	0.5	< 0.0005	< 0.0005
プロピオンアルデヒド	0.1	< 0.0005	< 0.0005
ノルマルブチルアルデヒド	0.03	< 0.0005	< 0.0005
イソブチルアルデヒド	0.07	< 0.0005	< 0.0005
ノルマルパレルアルデヒド	0.02	< 0.0005	< 0.0005
イソパレルアルデヒド	0.006	< 0.0005	< 0.0005
イソブタノール	4	< 0.05	< 0.05
酢酸エチル	7	< 0.05	< 0.05
メチルイソブチルケトン	3	< 0.05	< 0.05
トルエン	30	< 0.03	< 0.03
スチレン	2	< 0.03	< 0.03
キシレン	2	< 0.08	< 0.08
プロピオン酸	0.2	< 0.0005	< 0.0005
ノルマル酪酸	0.006	< 0.0005	< 0.0005
ノルマル吉草酸	0.004	< 0.0005	< 0.0005
イソ吉草酸	0.01	< 0.0005	< 0.0005

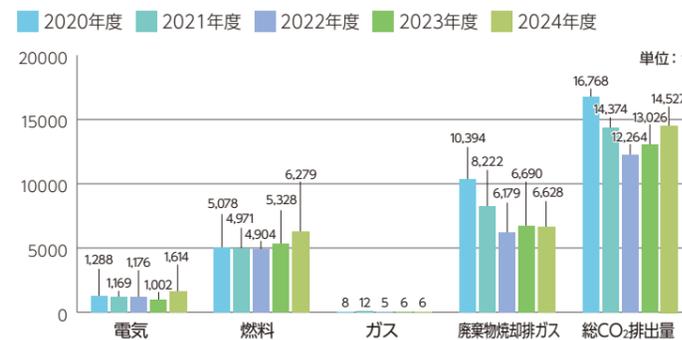
※<は、定量下限値未滿を示します。

●工場敷地境界・周辺の粉じん測定結果

測定項目名【単位】	基準	本社第3工場北側敷地境界 2024年12月
粉じん濃度【mg/m ³ 】	1時間値の1日平均値 0.10 1時間値 0.20	0.018

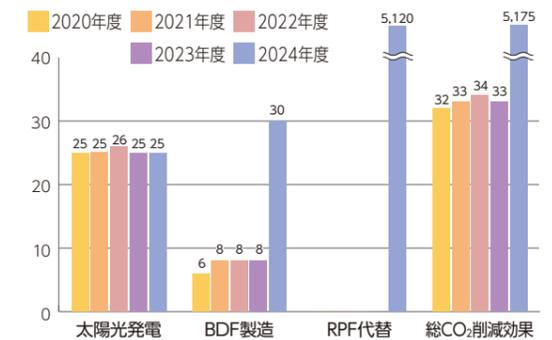
CO₂データ

●CO₂排出量(t-CO₂/y)



CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /y)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気	1,288	1,169	1,176	1,002	1,614
燃料 (ガソリン・軽油・灯油)	5,078	4,971	4,904	5,328	6,279
ガス(都市ガス・LPガス・プロパンガス)	8	12	5	6	6
廃棄物焼却排ガス	10,394	8,222	6,179	6,690	6,628
総CO ₂ 排出量	16,768	14,374	12,264	13,026	14,527

●CO₂削減効果(t-CO₂/y)



CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂ /y)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
太陽光発電による電気量削減	25	25	26	25	25
BDF製造による燃料費削減	6	8	8	8	30
RPF代替によるCO ₂ 削減効果	—	—	—	—	5,120
総CO ₂ 削減効果	32	33	34	33	5,175

◎編集方針……本報告書は、直富商事の全事業について掲載すると共に、環境及び社会的側面における活動実績を報告しています。

◎報告対象期間…2024年度(2024年3月1日~2025年2月28日) ◎発行年月…2025年5月

お問い合わせ先 直富商事株式会社 管理本部 コンプライアンス・広報部 TEL/026-222-1880 FAX/026-222-1881